

上村聡史 次期芸術監督による新プロジェクト 「ドラマコネクト」 2028年4月 新作上演に向けた 劇作家公募のお知らせ

新国立劇場は、2026/2027 シーズンラインアップ記者会見で発表いたしました「集団創作による新作」プロジェクトを「ドラマコネクト」と名付け、2028年4月の上演に向けて、ついに始動いたします。

上村聡史次期芸術監督（2026年9月就任予定）の指針のひとつである「新しい才能との出会い」。本プロジェクトはこの指針に基づき、2028年4月の上演に向け、演出の五戸真理枝と共に、公募による劇作家とフルオーデションによる出演者が、プロダクションワークショップを経て新作を創り上げる試みです。

このたび、プロジェクトの第一歩となる「劇作家募集」の詳細が決定しましたので、募集要項を公開いたします。最終決定者には、2028年4月公演の劇作をご担当いただきます。皆様からの沢山のご応募を心よりお待ちしております。

上村聡史次期芸術監督と、演出の五戸真理枝より応募して下さる皆様に向けてコメントが到着しました。ぜひ貴媒体にて本情報のお取り上げのご検討いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

<次期演劇芸術監督 上村聡史よりメッセージ>



新しい才能との出会い「ドラマコネクト」

演劇には、作り手の思いがお客様に届いたとき、想像力が刺激され、お互いの日々を豊かにする可能性があります。それは創作現場も同じで、劇作家の思いが、作り手たちに届いたとき、想像の翼は大きく羽を広げます。もちろん演出者の思考、俳優の声、スタッフのアイデアが、劇作家に届いたとき、想像の化学反応が起き、物語がより豊かなものへと育まれていきます。こうした集団創作におけるシェアは、仕事の役割は違えど、みな同じ立場にあります。日本には、たくさんの劇団が存在し、作り手同士のそうした想像の化学反応によって、数多くの優れた作品が生み出されてきました。

また、私の敬愛するワジディ・ムワドは、劇作家として駆け出しの頃、演劇仲間を自宅のアパートに集め、ダイニングテーブルを囲みながら、「私たちは何をおそれているだろうか」という質問から出発し、仲間たちの貴重な意見や他愛もない話にじっくり耳を傾け、そして台詞を紡ぎ、試作を繰り返しながら、『岸 リトラル』という作品を誕生させました。

「ドラマコネクト」。劇団というわけではありませんが、時間をかけてディスカッションやトライアンドエラーを繰り返し、日本語の新作を作り上げます。今回は、劇作家を公募し、それから劇作と演出のコンセプトを共有したうえで、フルオーデションで出演者を募り、そこから時間をかけて物語を創作していきます。集団創作の可能性を再発見し、新国立劇場という場で、清新な感性同士が、Connect=繋がっていただければと思います。

<演出 五戸真理枝よりメッセージ>



劇作家の皆さまに向けて

劇作家が、一人原稿用紙やパソコンに向き合い、物語を紡ぎ出し、演出者、出演者、スタッフは、劇作家が戯曲に刻んだ言葉の一つ一つを丁寧に読み解き、作品を立ち上げる。多くの演劇はそのような過程で作られます。

一方で、演劇の稽古場は、異なる価値観を持つ人間が集い、意見を交換し、対話を重ねながら、まだ見ぬ新しい舞台表現を生み出していく場所でもあります。

今回は、この意見交換や対話、試行錯誤を繰り返す稽古の時間に、劇作家の方にも参加していただきたいと考えています。今後選考する出演者の皆さまには、台本執筆のための準備過程にも参加していただく予定です。集ったメンバーの感性や想像力を活用しながら台本を書いてみてください。そして書き上がった上演台本から演技が立ち上がる過程でも、何か思いつくことがあれば、台詞を足したり、引いたり、リライトしていただき、それを試してみるなど、作品の可能性を言葉の面から一緒に探していただきたいのです。

とはいえ、劇作家の皆さまの中には、大勢の中で発言することが苦手な方もいらっしゃると思います。演出担当として、まずは、全ての参加者が安心して、対等な立場で意見交換できる環境を作りたいと思います。

その方法を編み出したいと思っています。劇作家が楽しく稽古に関わる方法についても、ぜひ一緒に探してください。

【五戸真理枝プロフィール】

小劇場での活動を経て 2005 年、文学座付属演劇研究所に 45 期生として入所。10 年、座員に昇格。演出助手などとして座内の多数の公演に関わる。16 年、文学座アトリエの会、久保田万太郎作『舵』で初演出。近年の主な演出作品は、ミュージカル『十二人の怒れる男』『アルルの女』『狼と狐との物語/人魚の海』『もうひとりのわたしへ』『わたしの紅皿』『石を洗う』『おきなわ』『アラビアンナイト』『マクベスの妻と呼ばれた女』『兵卒タナカ』『女学者たち』『桜の園』など。新国立劇場では『貴婦人の来訪』『どん底』の演出のほか、『オレスティア』『城塞』に演出助手として参加。演出のほか、戯曲や童話の執筆も手掛ける。23 年、『貴婦人の来訪』（新国立劇場）、『コーヒーと恋愛』（アトリエの会）、『毛皮のヴィーナス』（世田谷パブリックシアター）での演出で、第 30 回読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。新国立劇場では 27 年 5 月に『Ruined 奪われて』を演出予定。

2028 年 4 月公演 概要

【公演日程】2028 年 4 月公演(予定) ※5 月中、全国公演の可能性あり

【稽古日程】2028 年 2 月下旬稽古開始予定 於:新国立劇場内リハーサル室

【公演会場】新国立劇場 小劇場ほか

【演出】五戸真理枝

【芸術監督】上村聡史

【主催】新国立劇場

劇作家 募集要項

【応募資格】

- ・日本国内を拠点とし、日本語で劇作をする「劇作家」であること
 - ・「劇作家」として作品を執筆した経験がある方(未経験者不可)
- ※執筆した作品の出版、上演経験は問いません。

【応募条件】

- ・書類選考後の面談、その後の創作[出演者オーディション選考(一部)、プロダクションワークショップ、稽古など]に参加が可能な方。
- ※面談、創作は新国立劇場内にて行います。
- ・最終決定者の戯曲の著作権は作家本人に帰属しますが、初演の上演権は新国立劇場にあることを了承すること。

【応募受付期間】

2026年5月1日(金)～6月15日(月)23:59まで

【選考過程】

書類選考および面談(対面)を経て、最終決定をいたします。

①書類選考

選考結果は、2026年7月15日(水)までに応募者全員へメールにて通知いたします。

②面談選考

書類選考通過者を対象に、以下の日程で面談を実施いたします。
日程:2026年7月22日(水)～7月30日(木) ※7/27(月)は除く
会場:新国立劇場(対面での実施となります)

【選考者】

五戸真理枝(演出)、上村聡史(次期演劇芸術監督)、公演担当プロデューサー

【応募書類】

①エントリーシート

...指定用紙(EXCEL/PDF)を使用。要ダウンロード

②近年執筆した作品の中から1～2場面分の台本(上演開始から10～15分程度までの箇所)

...1作品のみ。書式サイズは「A4」をお願いします。

③募集テーマに沿った新作戯曲の構想

...未発表、未上演作品に限ります。下記「応募規定」をご確認ください。
指定テンプレート(WORD)を使用。要ダウンロード

募集テーマ『私が伝えたい物語』(演出:五戸真理枝より)

今この時代は、あなたにはどんな時代に見えていますか？

生身の人間が同じ空間に集い、物語を分かち合う——
あなたが考える演劇の魅力はどんなものですか？

あなたが今、伝えたい物語。

あなた独自の視点と手法で紡がれる
「今」を映し出す物語をお待ちしています。

▼「新作戯曲の構想」の内容▼

1. タイトル *仮でも可
2. 登場人物(1 役 200 字以内)
3. ものがたり(最低 600 字～最大 800 字程度)

※「2.登場人物」の人数は問いませんが、出演者の人数は 4～8 名程度でお考えください。なお、1 人の出演者が複数の登場人物を兼ねても構いません。

【応募規定】

- ・応募は 1 人 1 作品に限ります。
- ・日本語で書かれた構想であること。
- ・未発表、未上演の作品の構想に限ります。
- ・原作のあるものの脚色は不可。
- ・ご応募いただいた構想に基づく執筆作品の発表・上演は、選考中にご遠慮ください。
発表・上演された場合は、選考対象から除外とさせていただきます。
- ・共同で考えた構想の提出は可能ですが、互いの了解を得た上でご応募ください。

記事化の際には、ぜひ以下の URL もご紹介いただけますと幸いです

●劇作家 募集の詳細(応募書類のダウンロード含む)URL

https://www.nntt.jac.go.jp/play/news/detail/13_031510.html (5/1 18:00 に公開)

●「ドラマコネクト」ウェブサイト

<https://www.nntt.jac.go.jp/play/drama-connect/> (5/1 18:00 に公開)

< 本件に関するお問い合わせ >

制作部演劇 広報担当: 杉田 TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737